



中古車を売・買・した話

第3回

ふちんかん

この1月にマツダ・アテンザの中古車を購入した話、第3回です。

7. 東京旅行

購入を決めた埼玉にある中古車業者は、ネット販売にも力を入れており、陸送費無料のキャンペーンを行っていた。つまり埼玉で登録した神戸ナンバーの車を車搬車に載せて持ってきてくれるわけだ。手間はかからない。

しかし、もし受け取り直後に欠陥が見つかった場合の対応を考えると、搬送業者を介してるだけに責任の所在が曖昧になりそうだ。できれば完全に支払いをする前に実物を見ておきたい。それに搬送を頼むと1月の連休後の搬送となり、平日に休みを取って受け取ることになる。それは1ヶ月は前に申し出ていないと休むことができないブラック職種を考えると無理である。さらにできれば一日でも早く受け取りたい、連休中にドライブを試してみたいという子どもっぽい欲もある。

ということで、埼玉の販売店に受け取りに行くことにした。無料搬送をやめたところで安くなるわけではないが、ダメ元で言ってみると、まあ片道の飛行機分くらいのディスカウントもしてもらったことになった。ということで半金を事前に振り込みをして、残りを実車を見てお支払いという形にすることにした。

さてせっかく埼玉に行くなら、東京スカイツリーには登らねばなるまい。とりあえず高い所に行きたがるのは子どもの頃からの習性である。そんな話を家族にしたら、出不精であるはずの家族全員が乗り気に。急遽、車の受け取りが家族旅行となった。

朝一番の飛行機で羽田空港へ、そこからバスでスカイツリーへ行き、その後、家族が浅草・秋葉原を観光している間に私が販売店で車を受け取るというプランである。この旅行についてはいずれまた機会があれば。

年末に契約を交わしてから、正月の間、動きとしては何も無い。待ち遠しい気持ちとともに、初めての中古車購入（しかもネット通販）ということで不安感も湧き上がってくる。ネットで業者の評判や中古車トラブルなどの情報などで不安になったり、中古車を見る際のチェックポイントなどを知っておくことで安心感を得たり。まあ、今になってみれば杞憂だったのだが。オークションで一品ものを購入する際の昂揚感と同じだな、と。

中古車を売・買・した話

8. 契約から受け取り前まで

実車のある、業者の所在地（今回は埼玉）と、車を登録する陸運局の所在地（今回は神戸）が異なる場合の、中古車のナンバーの登録システムはどうなっているのだろうか。どうやら実車を持って行って神戸で登録しているわけではなく、書面のやりとりだけでナンバープレートが業者に送られるようだ。私が以前、実家の車を譲り受けたときは、実車を神戸の陸運局まで持って行って、その場で、ナンバーを外し、新しいナンバーを受け取って、係の方に車体番号とナンバーの確認をもらって、緘をしたという経験があったので、書面のやりとりだけでナンバーが交付されるとは意外であった。たしかに全国に販売するのに、実車を持って行ったり、業者が足を運ぶなんて現実的ではないと思う。ただナンバープレートが正しく登録する車につけられたか、どうやって確認をしているのだろうか。謎である。

ちなみに今回も希望ナンバー制度を利用して覚えやすい番号にした。

購入する車には、前のオーナーさんが ETC をつけていた。この機器はそのまま使えるのだが、ETC カードが変わるので、セットアップをやり直さないといけない。購入後、近くのショップで変更することもできるのだが、時間がもったいないので、販売業者に仲介をお願いすることにした。これで車を受け取って、そのまま高速に乗り帰ってくる際に ETC 割引が使える（休日 50%OFF は大きい!）。

あとは販売業者のオプションで、ガラスコーティングなどがかなり割安でオーダーできるのだが、これは申し込みしなかった。実車を見て、もしかしたら契約に至らない可能性も 0 では無かったからだ。

ただ、ガラスコーティングに関しては、今回、こちらに持ってきてから、専門業者の keepers に依頼することにした。

任意の自動車保険は、ネット上で車の変更、車両保険の金額の変更をした。もともとネット専用の保険会社なので、そのあたりはスムーズである。

次回へ続く